

企業という「人」のメッセージを
洗練された言葉で伝えたい

暮らしの中に
コピーのヒントがある

「家帰れば積水ハウス。」
2010年に積水ハウスが
50周年を迎えたのを機に始
まった広告キャンペーンの
コミュニケーションワード
である。同社の新聞広告で
は、毎回、家や家族をテーマ
につづられたコピーが掲載
される。8月1日付に掲載
されたグループ広告では
「ひとは、ひとを好きにな
る。ひとは、そのひとと一緒
に暮らしたくなる。そして、
家をたてたいとおもう。そ
の家は、ちがって、新しい
のちをつくる。そのちをそ
だててゆく。このちをまも
ってゆく。家は、LOVE
SONGだとおもう。」と
ある。手がけたのはコピー
ライターの一倉宏さん。

「私自身、生活者のひと
り。子でもあり、今秋、娘を
嫁がせる親でもあります。
自分の経験で生かせるこ
とは生かし、経験のないこ
とは想像しながら、いろい
ろな家族の姿を生活者の
目線ですべて書いています。暮ら
しの中、人生の中にヒント
があるんです」
家のスペックをうたう
商品広告も一倉さんの手
にかかれば、上質で洗練さ
れた雰囲気仕上がる。そ
んな新聞広告づくりの極

意は、広告主を擬人化して
考えることだという。

「自慢話ばかりする人の
ことを好きになれるかどう
か。いいところを言うのは
広告だから仕方ないです
けどね。そういう言い方をす
る人は好きだとか、こちらの
気持ちわかってくれそう
だとか、信頼できそうだと
か。企業のイメージというの
は、広告を通じてそんな風
に伝わっていくと思うから」
ブランドイメージの
蓄積には新聞広告

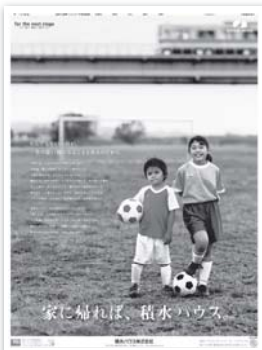
企業のブランドイメー
ジを蓄積するための広告
メディアとして「新聞をし
のぶものはなご」とも語
る。「たとえば、高校生がこ
つか大人になり、家を建て
るとき、積水ハウスがい
かもしれないと思ってく
れることが理想。そのため
には広告自体の完成度の
高さはもちろんですが、多
くの方の目に触れるメデ
ィアに露出し続けること
も重要です」

広告すべきことをセンス
よく表現する。クリエイタ
ーの腕の見せどころでもあ
る。一倉さんは大学卒業後
に入社したサントリー宣伝
部で、その技を磨いた。

「入社試験で書かされた
テーマが、『ソフィスティ
ケート(洗練)について』で



2012年1月1日付朝刊掲載



2012年7月26日付朝刊掲載



2012年8月1日付朝刊掲載



した。『露骨は下品』という
伝統があり、そこで広告つ
くりのいろはを学びまし
た。1970年代から80年
代のことです」

一つのコピーを生み出す
のに、100案以上考える
ことは当たり前。頭の中で
シミュレーションびきのよ
ろになってからは、ある程
度絞ってから書いていま
す。でも、ああでもない、こ
ろでもないと思える作業は
今も昔も変わりません」

サントリーモルツの広告
「うまいんだなこれがっ。」「
松下電工(現パナソニック)
の美容器具の広告「きれいな
おねえさんは、好きです
か。」「ソニー・ウォークマン
の音が進化した。人はどう
ですか。」など、一世を風靡

した数々の広告に携わり、
コピーを担当した。
サントリーには8年半在
籍した。その後、仲畑広告制
作所を経て9年に独立。現
在も広告業界の第一線で活

躍するベテランだ。同じ広
告業界で働く年下のクリ
エーターから「一倉さんが
作ったコピーをノートに書
き写していたとか」学生時
代に見た、あの広告が大好
きでした」などと告白され
ることも珍しくなご。

原点は詩の創作

コピーライターとしてC
Mソングの作詞も手がける。
積水ハウスのCMソング「積
水ハウスの歌」50周年パ
ーティンでは、70年に作られ
た原曲から歌詞のリニュー
アルを担当した。広告を基
軸に、言葉にまつわる仕事
を30年以上続けている。そ
の原点は10代半ばに目覚め
た、詩の創作だという。

「コミュニケーションの
中でも言葉を紹介したコミュ
ニケーションが好きなん
です。何千万の人々に直接
届く、新聞広告は特に好き
です。でもね、広告が好き
だからコピーライターにな
ったのではなく、純粋に
文章を書くこと自体が好
きだから、なんです。ガリ
版で刷った詩集をほめて
くれる人がいたときの喜
びが原点。その詩集が、今
は新聞広告になっている
んだと思います」

文/山下薫 写真/星野章



一倉 宏さん

いちくら・ひろし/1955年、群馬県渋川市生
まれ。筑波大学卒業後、サントリーに入社。仲
畑広告制作所を経て独立。東京コピーライタ
ズクラブ副会長、筑波大学、多摩美術大学非常
勤講師。作詞家として斉藤和義「ウエディング
ソング」「おつかれさまの国」などの作品がある。
著書に『ことばになりたい』(毎日新聞社)『人生
を3つの単語で表すとしたら』(講談社)ほか。詩
やショートストーリーも発表している。TCC最
高賞、ADC賞、朝日広告賞など、受賞多数。
ホームページ www.1-kura.com